

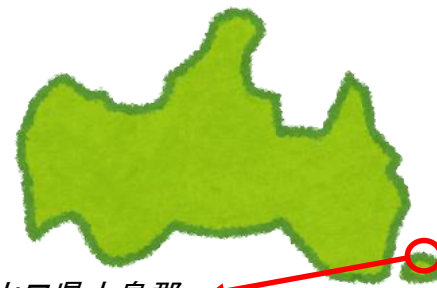
取組の概要

取組の概要 : 集出荷貯蔵施設の導入による高品質かんきつの端境期出荷及び収益向上
 計画作成主体 : 周防大島地域農業再生協議会
 対象品目 : かんきつ(せとみ) (産地面積 : 21.1ha)
 主な取組主体 : 山口大島農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(単位面積)
 助成金の活用 : 整備事業(集出荷貯蔵施設)
 状況

ポイント

県オリジナル品種「せとみ」を長期冷蔵貯蔵することにより出荷の分散・平準化を図るとともに、上位等級『ゆめほっぺ』を増加させ、5～6月の国産柑きつ端境期に出荷することで、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



山口県大島郡
周防大島町久賀

産地の現状と目標

〈現状:H26・27年度平均〉

作付面積 : 21.1ha (出荷数量 : 215t)
販売額 : 419,565円/10a

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 21.1ha (出荷数量 : 241t)
販売額 : 524,396円/10a



推進体制

地域の関係者(山口県柳井農林水産事務所、山口県柑きつ振興センター、周防大島町、山口大島農業協同組合等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 『ゆめほっぺ』の内部品質向上、連年安定生産のための土づくり
- 外観品質向上のための防風・防鳥施設整備
- 光センサー選果による品質の平準化、上位等級品質の安定的な選別

〈県単独事業〉

- 産地競争力強化対策事業によりパイプハウスの整備等品質向上・連年安定生産対策を支援(県単)

事業効果

- 低温恒湿での長期貯蔵により「せとみ」の出荷の分散・平準化が図られるとともに、高品質の『ゆめほっぺ』が増加。
- 国産かんきつの端境期に高品質の『ゆめほっぺ』や「せとみ」を出荷することで生産者の所得向上につながり、産地強化を実現。

～せとみの販売額～

